

情報公開文書

「オーダーメイドの気管切開チューブの有用性に関する検討」

1. 研究の目的

気管切開後の合併症として、気管や気切孔の肉芽、気管切開チューブの不適合などがあります。合併症に対して、従来は気管切開チューブの変更や固定方法の工夫などを行っていましたが、有効な対応が困難な場合もありました。そこで、個人の状態に合わせて長さや角度を調整したオーダーメイドの気管切開チューブを使用するようになりました。オーダーメイドの気管切開チューブの有用性や問題点を明らかにすることを目的に、オーダーメイドの気管切開チューブを使用している方の臨床情報の検討を行います。

2. 研究の方法

●対象となる患者さん

当院小児神経科において、オーダーメイドの気管切開チューブを導入し、継続的に使用している方

●研究期間

2019年2月1日～2020年3月31日

3. 研究に用いる情報の種類

診療録から、年齢、性別、診断名、気管切開後の経過、オーダーメイドの気管切開チューブ導入前後の問題点や経過、画像検査等について情報収集を行います。

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

宇多野病院倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名、住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っております。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を中止する場合の連絡先：

京都市右京区鳴滝音戸山町8

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 電話番号(代表) 075-461-5121

小児科 鈴木 理恵

研究責任者：小児科 白石 一浩